

令和3年度 主な事業

問 市長公室行政経営担当 ☎内線 212



放課後の学びの場づくり

交通安全対策・啓発事業 1,761万4千円

高齢運転者を対象に体験型交通安全講習会やトレーニングアプリを活用した運転技能向上講習会などを開催

放課後児童クラブ施設整備事業 5,570万4千円

鶴ヶ谷児童館と天真小学校の2カ所に分けて設置している放課後児童クラブを天真小学校内へ集約

地域とともにある学校づくり事業 894万5千円

地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える仕組みを導入

特別史跡多賀城跡復元整備事業 1億2,427万2千円

多賀城南門復元、築地塀の整備および記録映像の制作を実施

エコ未来推進事業 61万1千円

砂押川や市内の里山などで希少な動植物などに触れる自然環境体験を実施

中央公園魅力創造事業 1億27万1千円

歴史的文化と自然に親しむ都市公園として、中央公園を整備

農地活用次世代型農業促進事業 909万2千円

野菜等高収益作物および他用途米などへの転換に対し補助金を交付。スマート農業に関する機器・設備などの導入補助や組織化に向けた支援を実施

創業支援事業（多賀城みらい塾） 1,715万1千円

創業セミナーやスクール、ビジネスプランコンテストを実施

観光資源ブラッシュアップ事業 300万円

多賀城の観光の目指すべき姿や方向性を導き出すとともに、本市固有の歴史文化などに新たな価値を見だし、どのように観光につなげていくかを検討しながら、経済に波及する仕組みづくりを推進



多賀城政庁跡



貞山堀



タウンミーティングの様子（平成31年度）

地域経営基盤構築事業 86万8千円

自治会・町内会をはじめとする多様な主体が課題解決へ向けて協働し、市民主体による持続的な地域経営を行っていくため、地域経営コーディネーターの協力を得ながら体制を構築

多賀城創建1300年記念関連事業 3,940万円

本市固有の歴史文化に付加価値を生み出し、次代につなぐ市民の誇りとして磨き上げることで、シビックプライドを高めることにつながるよう、多種多様な文化プログラムを展開

多賀城の若者 みらい創造事業 30万円

多賀城の未来を創造するため、多様な感性や価値観、豊かな創造力を持つ若者たちと、アイデアを出し合い、新たなまちづくりの活動実践を促すワークショップを開催

デジタル行政推進事業 2,353万5千円

行政手続をスマートフォンなどから入力することができるWebフォームを用いた行政手続のデジタル環境の構築。各種業務の自動処理化（RPA）を試行・実装するための業務委託などを実施



市木 山茶花

「日々のよろこびふくらむまち 史都 多賀城」を目指して

令和3年度 施政方針

問 市長公室行政経営担当 ☎内線 212

新型コロナウイルス感染症の感染拡大、少子高齢化の進展やデジタル社会への急速な移行など、私たちを取り巻く環境は目まぐるしいスピードで変化しています。そのような中、令和3年度は、11月1日に市制施行50周年という節目の年を迎えるとともに、この4月から第六次多賀城市総合計画がスタートします。将来都市像に掲げる「日々のよろこびふくらむまち 史都 多賀城」の実現に向け、多賀城ならではの心豊かな喜びや幸せが感じられる日常が、日々の暮らしに豊かに息づくまちづくりを市民の皆様とともに進めるため、新たに設けた3つの重点テーマのもと戦略的・横断的な取組を推進します。



心も暮らしも豊かなみらいをつくる みんなが育つまち

少子高齢化の進展や人口減少社会の中で、子どもたちが未来に沢山の夢や希望を持つことができるよう、学校・家庭・地域が連携し、地域社会全体で子どもたちの学びを支えます。多くの人が地元で意欲を持って働けるよう、起業創業へのチャレンジやイノベーションの創出を応援し、暮らしを支える地域産業の振興につながる取組を進めます。



震災の経験をいかし みんなの力がつながるまち

東日本大震災の経験から得た知恵や教訓、伝承される知見をいかにしながら、人と人、人とまちとのつながりを深めることで、希望にあふれた未来を拓くため、自治会・町内会や地縁組織・市民活動団体や企業をはじめとして多様な主体が参画できる地域経営の体制を構築します。学校、家庭、地域が相互にパートナーとして連携・協働することにより、学校を核とした地域づくりを推進します。



市民の誇りとなる 多賀城らしい魅力をたがやすまち

令和6年に多賀城創建1300年を迎えることから、それを契機として、本市の歴史文化資源に、これまでにはないような付加価値を生み出し、多賀城の魅力を磨き上げます。こうした取組みにより、市民のシビックプライドを醸成し、このまちでの時間と場所を楽しむ人々を増やし、交流人口や関係人口の増加につなげます。

令和3年度 当初予算 250億9,000万円

問 市長公室財政経営担当 ☎内線 216

社会保障費の伸びや公共施設の老朽化対策、新型コロナウイルス感染症対策により、歳出は増加傾向にあります。将来に過度な負担を残さないよう、選択と集中によって借金の額や歳出規模を抑えつつ、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた地域経済の活性化など、真に必要な支出を惜しまないという姿勢で健全財政維持に努めます。

一般会計は、前年度と比較すると8億8,000万円、3.6%の増となりました。

令和3年度各種会計予算

会計区分	当初予算	前年度比増減率
一般会計	250億9,000万円	3.6%
特別会計	98億1,800万円	△1.5%
国民健康保険	48億7,600万円	△6.8%
後期高齢者医療	6億4,500万円	2.2%
介護保険	42億9,700万円	4.7%
企業会計	70億1,737万7千円	△11.0%
水道事業会計	21億9,300万円	△7.6%
下水道事業会計	48億2,437万円7千円	△12.5%
合計	419億2,537万7千円	△0.3%